



## 日本中央競馬会に感謝状を贈呈

# むらの話題

地域的话题を  
お待ちしております

■総務課・広報係

☎029-885-0340 (内) 205



11月12日、JRA美浦トレーニングセンター(草野広美場長)より、多額の寄附金をいただき、村から感謝状を贈呈いたしました。来庁された草野場長からは「寄附金は新型コロナウイルス感染症対策など、行政運営に役立てていただきたい。村民の皆様が安心して生活できるようコロナウイルスの終息を心から願っている。」と心温まるお言葉をいただきました。中島村長からは「美浦トレーニングセンター所属のアーモンドアイ号がG1レース8勝という偉業を達成するなど、コロナ禍でも村から明るい話題を全国に発信できたことは、非常にうれしい。今後もスターホースの誕生を期待している。」と述べられました。いただいた寄附金は、大切に活用させていただきます。

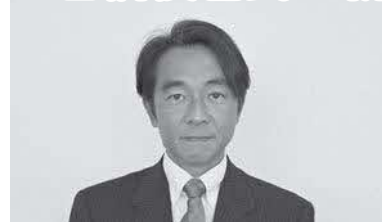
## ジュニア体操選手権大会 団体・個人ともに大活躍!



11月8日、笠松運動公園で「第32回茨城県ジュニア体操選手権大会」が開催されました。今大会は、新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれていましたが、大会役員をはじめ、関係者全員の協力のもと無事に開催する運びとなりました。

ジョイナスみほからは男子5名が出場し、初級団体にて「優秀チーム賞」を獲得しました。また、個人成績でも金賞3つ、銀賞2つの大健闘です。日頃の練習から切磋琢磨し、良きチームメイトでありライバルでもある5名だからこそ獲得できた賞だと思えます。選手の皆さんお疲れ様でした。

## 新教育委員に 石橋慎也氏が就任



【新教育委員 石橋慎也氏】

11月2日付けで石橋慎也氏が新たに美浦村教育委員会委員に就任いたしました。

前任の栗山秀樹氏は、教育委員として8年間にわたり村のためにご尽力いただき、すぐれた識見をもって村の教育振興に努められました。

新教育委員の石橋氏は、地元企業の「いしばし商店」において代表を務めており、平成29年度には安中小学校のPTA副会長としてご活躍されました。今後、本村教育の充実・発展へのご協力をお願いいたします。

11月8日から22日、JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会茨城県大会が県内の各会場にて行われました。県南大会を勝ち抜いたFCウィリーの村内5・6年生チームの12名は、県大会でも健闘しました。残念ながら試合で敗れましたが、コロナ禍でも試合ができる喜びを噛みしめながらプレーし、選手たちは大会期間中も大きく成長しました。今後ますますの活躍が期待されます。



## FCウィリー 県大会で健闘!

◇FCウィリーでは、元気な団員を募集しています。  
※5歳(年中)〜小学生  
◎連絡先 大林 ☎029188516017、菅原 ☎0801201314665



# おめでとう 美浦所属馬 GI 優勝



## 第162回 天皇賞(秋)

## アーモンドアイ号



11月1日、東京競馬場(2000m・芝コース)で行われた、第162回天皇賞(秋)において、美浦トレーニング・センター国枝栄厩舎所属のアーモンドアイ号が優勝しました。

今回のレースも多くのファンからの人気を背負ってのスタート。序盤、中盤と先頭集団の好位置でレースを進める。終盤までそのままレースを進め、最終コーナーを周り最後の直線、各馬スパート態勢に入中、アーモンドアイ号もスパートをかける。前を行くライバルを一気に抜き去り先頭に立つと、食い下がるライバルを振り切って先頭でゴール。見事、天皇賞(秋)の二連覇、そしてGI 8冠という、これまでの名馬たちが成し得なかった前人未踏の大記録を打ち立てました。

アーモンドアイ号の厩務を担当する根岸真彦調教助手は、「レース前も普段通りといった感じでしたが、少しずつ観客も入ってきていて、人の声やカメラのシャッター音も聞こえていい意味で緊張感がありました。私自身も8冠だからということなくいつも通りリラックスしてレースに臨むことができました。レースを終えて、8冠とれてよかったなあつくづく思いましたよ。」と語ってくれました。また、ファンの皆さんのために一言、と何うと「引退するまでにひとつでも記録を伸ばすため、アーモンドアイ号と一緒に頑張っていきたいので、これからも応援をよろしくお願いします。」と力強くおっしゃられました。今回のレースで大記録を打ち立てたアーモンドアイ号、この名馬の走りを支える根岸調教助手、そして関係者の皆さん、これからも頑張ってください。



国枝 栄 調教師



根岸真彦 調教助手

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厩舎には訪問せず電話による取材とさせていただきます。  
なお、掲載している写真については、昨年の取材時に撮影させていただいたものを使用しております。



### みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「晩・秋」(一字以上詠み込み)

歳を重ねりや寂しさ募る老いの人生秋深し  
 稲穂刈られて裸の田んぼさがしが群がる秋の暮  
 角を曲がれば木屋香る秋を吸い込む散歩道  
 秋の田圃に蜻蛉の番互い睦みて飛び去りぬ  
 筑波風で深まる秋になびき色づく草紅葉  
 苦楽共にし金婚迎え語る思い出秋の夜半  
 草木色づき熟れる柿が揺れてさびしい秋の夜半  
 錦織り成す絶景旅路不安忘れる秋の空  
 抜ける秋空里山光る残る柿の寒冬支度  
 秋の夜長の名月眺めひとり聞いている虫の声  
 樂し吟行 縄文偲ぶ秋の名残りの陸平  
 母の年までやっこきたようまい晩飯うまい酒  
 頬を撫で行く秋風寒く野原色づき草紅葉  
 旅行気分分で駅弁買ってゆずの温泉晚ごはん  
 映画観終えた晩秋の街妻が寒いとすがりつく  
 パーのマグダムの「今晚お暇」甘い囁きそれは詐欺  
 焦げる秋刀魚のしたたる油今じゃ解凍我家膳  
 秋の白雲筑波を包み女体男体ひと休み  
 電話がつなぐ二人の絆ベルで浮かれる晩き夜  
 熟れた柿の実夕日に映えて里は明るい豊の秋

十一月の俳句(題 当季雑詠)

陸平雲を掃いてる揺れ芒  
 特攻の町にひとと金木犀  
 秋薔薇めでて優しき今朝の妻  
 落ち葉踏む深き眠りの遺跡有り  
 晩秋や初吟行の陸平  
 シヤカシヤカと木の葉おいかけ児の笑顔  
 手土産の新米ズッシリ手に余す  
 天高し大仏墓地にバイク音  
 おしゃべりの弾むサロンの小春かな  
 冬ざれの陸平に竖穴ポツリあり  
 水引草悲しい赤のありにけり  
 向こう場が近くに見える秋景色  
 秋吟行足腰鍛え陸平



- 飯塚筑風  
 山岡亜子  
 石戸律華  
 井戸賀鮎道  
 塚本夏雲  
 伊藤葉子  
 門脇悠美  
 増尾青蓮  
 関根秀子  
 山岸錦洋  
 田島草実  
 山崎泰弘  
 小園江久美  
 沼寄朋香  
 山崎笑子  
 高橋一步  
 上野八千代  
 酒川夢花  
 長谷川悦子  
 篠原美千代  
 (五十首順)  
 青野安佐子  
 石毛恵美子  
 市川紀行  
 海道民子  
 木澤はしめ  
 小林美佐恵  
 高柳幸子  
 田島早苗  
 中島輝子  
 長田敏笑  
 増尾尚子  
 松葉蝶駿  
 松本秀子